

4年間で市民の皆様と「約束」したマニフェストを検証しました

# 太田博之 50歳

会派「みさわ未来」所属

今の勇気が  
みさわの未来を変える



会派みさわ未来は  
マニフェスト大賞優秀賞 2年連続受賞



プロフィール  
Profile

生年月日：1961年3月31日  
出身地：青森県三沢市生まれ  
学歴：三沢高校卒、駒沢大学法学部中退  
職業：有限会社 三ツ輪商会（代表取締役）  
血液型：B型  
星座：おひつじ座  
趣味：スポーツ（ゴルフ・スキー）、  
映画鑑賞、旅行  
好きな言葉：一生青春  
人は強くなければ生きていけない  
しかし、優しくなければ生きていく資格がない

太田博之 後援会事務所

〒033-0024  
三沢市東岡三沢1-79-4（有）三ツ輪商会内  
TEL: 0176-53-1503 FAX: 0176-53-9167

ツイッター @ootahiroyuki31  
<http://twitter.com/#!/ootahiroyuki31>



現職  
Incumbent

NPO法人テイクオフみさわ 顧問（前理事長）  
日本宇宙少年団みさわ分団 顧問  
（財）三沢地区交通安全協会 副会長  
青森県航空協会 副会長  
中央町二丁目祭礼委員会 委員長  
三沢市消防団員（第十分団）  
青森県生涯学習審議会委員  
ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 運営委員  
JAXA宇宙教育指導員

公式オフィシャルサイト

<http://ota-hiroyuki.com>

太田博之 検索

携帯サイトはこちら



## マニフェスト通信簿 (第三者評価)

青森中央学院大学経営法学部専任講師  
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員

佐藤 淳 氏

総合評価

78 / 100点



▲ 青森中央学院大 佐藤研究室にて

### 1 マニフェスト実現への取組

■マニフェストの20項目に関して、子育て支援条例、いじめ、児童虐待対策以外、ほぼ一通り、一般質問や委員会等、議会の場で取り上げている。取り上げていない項目に関して、役所の担当者への働き掛けや、政策の研究を行っている。課題は、マニフェストの実現であるが、個人のマニフェストを会派のマニフェストに織り込み、進化させ、実現の可能性の度合いを高めたことは評価出来る。マニフェストの4項目で掲げている政策型の議員提案条例に関しては、会派として、一つでも任期中の制定を目指して欲しい。

実現取組

40 / 60点

### 2 議員活動の情報公開

■自身のHPにおいて、積極的に日々の議員活動の情報発信を行うとともに、簡易投稿サイトのツイッター等、新しい情報発信の方法にも意欲的にチャレンジしている。また、会派として、4回の議会報告会、2回の街頭演説会を開催し、積極的に議員活動、議会活動の情報提供と、市民対話を実施したことは高く評価出来る。

情報公開

10 / 10点

### 3 マニフェスト実現に向けての自己啓発の取組

■ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟のメンバーとして、関連の各種研修会に参加し、マニフェスト、議会改革の先進事例の吸収に努めるとともに、新会派「みさわ未来」においては、1年間に9回の研修会を企画、積極的に会派の政策力向上を実践した。今後は、こうした取組を、三沢市議会全体に波及させ、議会全体のレベルアップが図られることを期待したい。

自己啓発

8 / 10点

### 4 マニフェストの取組全般

■4月に設立された政策中心の新会派、「みさわ未来」の政策部長として、活動の中心的な役割を果たした。特に、会派マニフェストの作成の取組に関しては、6月から市内で計7回のタウンミーティングを開催、三沢市のあるべき姿、それに向けた方策について市民の意見を集め、「みさわドリームプラン」を作成、市長に提言したことは、マニフェスト型議員活動の手本となる。そうした取組が評価され、第5回マニフェスト大賞において、会派「みさわ未来」が優秀賞を受賞したことも特筆に値する。

取組全般

20 / 20点

### Q. 評価手法

今回の評価は、当選3年目（2010年4月～2011年3月）のマニフェスト型議員活動の評価であることを基本とする。

なお、太田博之議員が行ったマニフェストの自己評価を基に、それぞれに対してヒアリングを実施することにより第三者評価を行っている。評価は100点満点で採点し、80点が採点基準によるもので、残りの20点が評価者の判断（マニフェストの取組全般、及び、マニフェストの進化）で採点する。採点基準に伴う80点の内訳は、①マニフェスト実現への取組60点、②議員活動の情報公開10点、③マニフェスト実現に向けた自己啓発の取組10点とする。

また、今回は3年目でもあり、3年前のマニフェスト作成時とは、それぞれの政策を実現するに際して、内部、外部環境が変化してきている場合もある。そうしたことを踏まえ、マニフェスト実現への取組と、評価者の判断のところで、マニフェストが良い方向にバージョンアップする「マニフェストの進化」という視点も加味して採点した。

2011年8月12日

## 5、マニフェスト運動

自らのマニフェストを毎年検証（自己評価・第三者評価）し、マニフェストサイクルを回してきたことは勿論、市民協働のマニフェスト『みさわドリームプラン』を作成しました。また、そのことが評価され2010年、2011年と2年連続マニフェスト大賞優秀賞（地方議会部門）を県内では初めて受賞しました。



※写真は、マニフェスト大賞審査委員長北川正恭氏（中央）を囲んで

## 6、情報公開

2008年度のマニフェスト評価（第三者評価）の際に、情報公開の項目で0点だったことを受けて2009年度からホームページを立ち上げ、議会活動を中心にブログを公開し、ほぼ毎日更新しています。また、携帯サイトも立ち上げたほか2010年9月からツイッターを、2011年月からフェイスブックを活用し情報発信に努めてきました。



## 7、その他の活動

県生涯学習審議会委員（2007年から）の傍ら、上北教育支援プラットフォーム実行委員長として市内の小中学校の教育支援を行う国のモデル事業を進めています。また、市民提案事業を活用して「コミュニティ・スクールフォーラム」（3年連続）を開催するなど、教育問題に積極的に関わってきました。



## アメリカ村「MGプラザ」（現スカイプラザ）について



当時、建設を進めるに当たり、常にどんな事でも役員会並びに市の担当者と相談の上で進めており、私自身、会社及び個人の資産を全て担保に入れて取り組んできた事業でありました。

また、一部で風評されているように、私個人が勝手に計画や建設業者を決めてきたとの事は全くの事実無根であります。

しかし、「MGプラザ」の計画に携わった者として、現在このような状況になったことを申し訳なく思っております。

振り返ってみますと、7年間で900回近い会議を行い、地域の方々と「夢」を語り合いました。若者が集い、誇れるアメリカ村。決して他の地域がマネの出来ない、基地との融合で創るMGプラザを目指し、明けても暮れても先輩たちの20年来の「夢」を実現したいと、使命感に燃えて挑んでおりました。

この思いは今でも変わることはありません。ここで生まれ育った私としては、もし再度、関われる事があれば失敗から学んだことを活かしていきたいと願っております。

## 主な活動 (2008年4月～2011年9月まで)

市民の皆様より、「議員」の活動が見えない。「議会」は何をしているのか分からないと言われてきました。私は、その声に応えるべくホームページや議会報告会、街頭演説等をつうじて情報公開をして参りました。

ここでは、「市民の皆様との約束」についてその一部しか紹介できませんが是非ともホームページをご覧ください、私のこれまでの活動をチェックしていただきたいと思ひます。

私は「議員」として、自身の活動を市民の皆様公開することは、報酬をいただく上で「義務」だと考えています。

議員の言いつばなし、市民の選びつばなしは三沢市の未来に対し、決して良いことではないはずでず。

### 1、一般質問

平成20年第2回定例会(6月議会)から平成23年第3回定例会(9月議会)まで、平成20年第4回定例会を除いて、全ての定例会において一般質問を行いました。

登壇回数13回。質問内容述べ35項目75質問。



### 2、研修会(自己啓発)活動

個人として、ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟に加入し毎年3回の講義、研修会に参加してきました。また、2010年4月に結成した会派「みさわ未来」の研修会として、これまで10回の研修会を企画、実施しました。



### 3、会派「みさわ未来」の活動

「開かれた議会」を目指し議会報告会&タウンミーティングを6回開催しました。また、市民協働のマニフェストを作成するため各地域でタウンミーティングを3回開催したほか、会派情報紙『未来からの風』を増刊号も含め7号発行しました。また、街頭演説会を4回開催いたしました。



### 4、NPO法人等の活動 (テイクオフみさわ・日本宇宙少年団みさわ分団)

2003年にNPO法人テイクオフみさわを設立(2010年まで理事長)し、2006年度より、県立三沢航空科学館を指定管理者として運営しています。

(指定管理以前の入館者数11万人を22万人まで倍増(2010年度))また、宇宙教育普及のため2010年6月から日本宇宙少年団みさわ分団(顧問)を設立・援助し、手作りのプライマリーグライダーを製作するなど子供たちの体感できる事業を積極的に展開してきました。

現在は、八戸工業大学との連携事業で「空中ペンギン」を開発中!様々な人が航空科学館に関わる日本一のコミュニティミュージアムを目指しています。

※写真は、山崎直子宇宙飛行士(右から2人目)とOKサイン!



## マニフェスト自己評価表 太田博之のこれまでの活動・・・あなたの評価は?

7つの視点から取り組んだ

# 太田博之 マニフェスト next 2012



詳しくはこちら <http://ota-hiroyuki.com>

私は、1年毎にマニフェストの取組みをチェック(自己評価・第三者評価)してきました。詳しくは太田博之公式ホームページの「マニフェスト通信簿」をご覧ください。ここでは、2期目の3年目を終えての自己評価(2011年8月)を公表します。

議員版マニフェスト評価 (二〇〇八～二〇一〇年度)

## 学び

学校は社会の入り口。  
期待に応えられる教育に再生します。

「教育支援プラットフォーム」を立上げ学校と地域(企業)との連携を図ることができた。また、いじめ・不登校・児童虐待対策としてスクールソーシャルワーカーの設置を実現した。

※『三沢市地産地消推進条例』は制定できず

自己採点  
**56**  
/100点

## 公の

お役所仕事をなくす。  
信頼性と機能性の高い行政へと導きます。

市民が行政評価に参加できる仕組みを作ることが出来なかった。入札制度については「総合評価落札方式」の導入については一般質問をつうじて実現した。

自己採点  
**50**  
/100点

## 議の

住民から預かった立場。  
その負託に応える議会改革を進めます。

議員の定数については「議会基本条例」を議論する中で改正したかったが結果として定数を削減することが出来た。また、「三沢市選挙公報発行条例」の制定を実現した。

※『三沢市議会基本条例』は制定できず

自己採点  
**54**  
/100点

## 育み

子どもたちは社会の宝。  
健やかな育ち・育みを応援します。

一般質問をつうじて「子育てサークル」の設置を実現した。現在は、サークルの利用を促進し、育成・充実を図るべく執行部が施策について検討に着手している。  
※『三沢市子育て支援条例』は制定できず

自己採点  
**68**  
/100点

## 働き

チャンスは希望の源泉。  
生きがいある多様な場を創ります。

「地域シニア活動プラン」は未だ作成できていないが、三沢航空科学館のボランティア等でシニアの活動を推進している。また、『みさわドリームプラン』に老人対策の見直しを盛り込んだ。2次交通については三沢航空科学館で無料シャトルバスの試験運行を実現。

自己採点  
**68**  
/100点

## 環の

かけがえのない地球。  
環境づくりで発展と保全を調和します。

一般質問をつうじて在日米軍の再編の中で「今後の基地機能のあるべき姿について市民と対話の機会が必要」との答弁を引き出し実現に向け大きく前進した。  
※『三沢市歩きたばこ、ゴミのポイ捨て条例』は制定できず

自己採点  
**55**  
/100点

## 安の

必ず来る災害。  
安全・安心の防災・減災力を向上します。

消防団の充足率100%は達成できなかったが、2011年7月末現在で97%まで改善された。また、災害・防災ボランティアや自主防災組織については執行部に対し意識改革を促すことが出来たが、自主防災組織は2011年3月末で17%に止まっている。

自己採点  
**80**  
/100点